



教えることは二度学ぶこと ～Win-Winの小高連携事業～

「吉川高校生の成長物語」第23回は、1年生(51回生)が12月16日(金)に実施した吉川小学校との連携事業、「講座:高校生によるミニティーチャー」の紹介です。小学1年生から3年生を対象に、2講座ずつ開講しました。講座1のテーマは各学年共通で「『備え』を学ぼう」でした。地震や津波、水害、火災等、災害や危険なことから自分の身と安全を守るためにはどうすればいいのかわ、一緒に考えました。学年進行で少しずつ難易度を上げながら、1年生は全員が参加できるような〇×クイズが中心、2年生では全問正解者にプレゼントを用意、3年生はワークシートを用いたグループ活動を取り入れるなど、どの学年の子どもたちも生き生きと主体的に活動していました。



講座2は、対象となる子どもたちの発達段階を考慮し、学年により異なるテーマで実施しました。

▶ 1年生:「健康と運動」

クイズ出題、スライド解説、体操等、伝え方に工夫を凝らし、ワイワイと楽しい雰囲気、朝食や運動、生活習慣等、「ずっと元気である」ための基本を学んでもらいました。



▶ 2年生:「科学マジック」

前半は「紙で割り箸を折る!」という不思議な体験、後半は「スライムづくり」体験でした。面白実験を通して、科学に対する子どもたちの好奇心をそそることができました。



▶ 3年生:「中華料理 meets the world」

白ご飯と出会い、日本で誕生した「天津飯」等、世界各地で独自の進化を遂げた中華料理。クイズ形式で、食文化の豊かさや異文化の受容を考えるきっかけを提供しました。



人に何かを教えて喜ばれるとうれしいものです。少しでも丁寧に説明しようとして、無意識のうちに真剣に言葉を選びます。その結果、相手にとってはもちろん、自分にとっても新しい言葉の発見が得られたり、逆に知識の不足に気づいたり…。今回51回生は、総合的な探究の時間でインプットした知識や知見を、小学生相手にアウトプットすることにより、逆に学ぶ力、即ちインプットのカも大きくなったはず。まさに「教えることは学ぶこと」です。

一方、吉川小学校の子どもたちは、高校生のお兄さん・お姉さんに教えてもらうことがうれしくて仕方がない様子でした。その目の輝きは、こんなにも「学ぶことは楽しいことなんだ」という原点を思い出させてくれました。

小・高双方にとってWin-Winの関係ですが、高校生が得るものがより大きかったのでは、と感じた連携事業でした。

